

城山雌池後背斜面の復旧について

工法の選定

斜面（法面）の安定化による登山客の安全を第一に考えた中で、文化財や自然環境に配慮した工法を選定しました。

復旧概要

①斜面安定化

崩落した斜面を安定化するため、地山の補強や湧水対策を行います。安定化対策後は、環境に配慮した人工的な土壌を吹き付けて緑化を図ります。

概要：地山の補強（鉄筋挿入工）、湧水対策（補強土壁、排水路）、侵食防止・緑化（ジオファイバー、植生マット）

②雌池復旧

雌池上部の崩壊した石垣（右下図参照）を回収し、埋没した雌池を掘削します。

③園路復旧

最後に園路に崩落した土砂を撤去することや壊れた階段を補修します。

斜面安定化イメージ

鉄筋挿入工（FRP受圧板）イメージ



補強土壁イメージ



ジオファイバーイメージ



【仕上がりイメージ】 植生マットの施工後、5か月後のイメージ



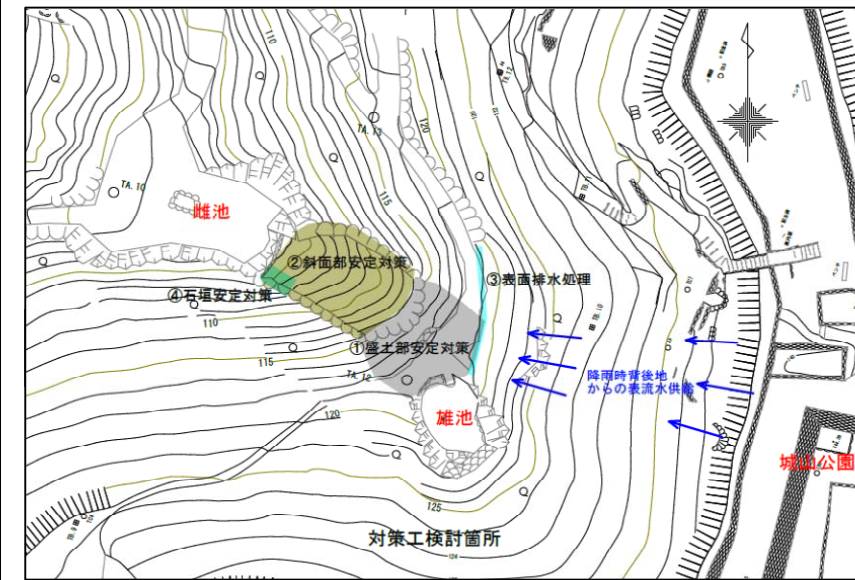
今後のスケジュール

今後のおおむねの復旧スケジュールは以下のとおりです。全ての工事が完了後、登山道を開放します。

工種	H30年度												H31年度											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	
①斜面安定化																								
②雌池復旧																								
③園路復旧																								

参考図等

【平面図】

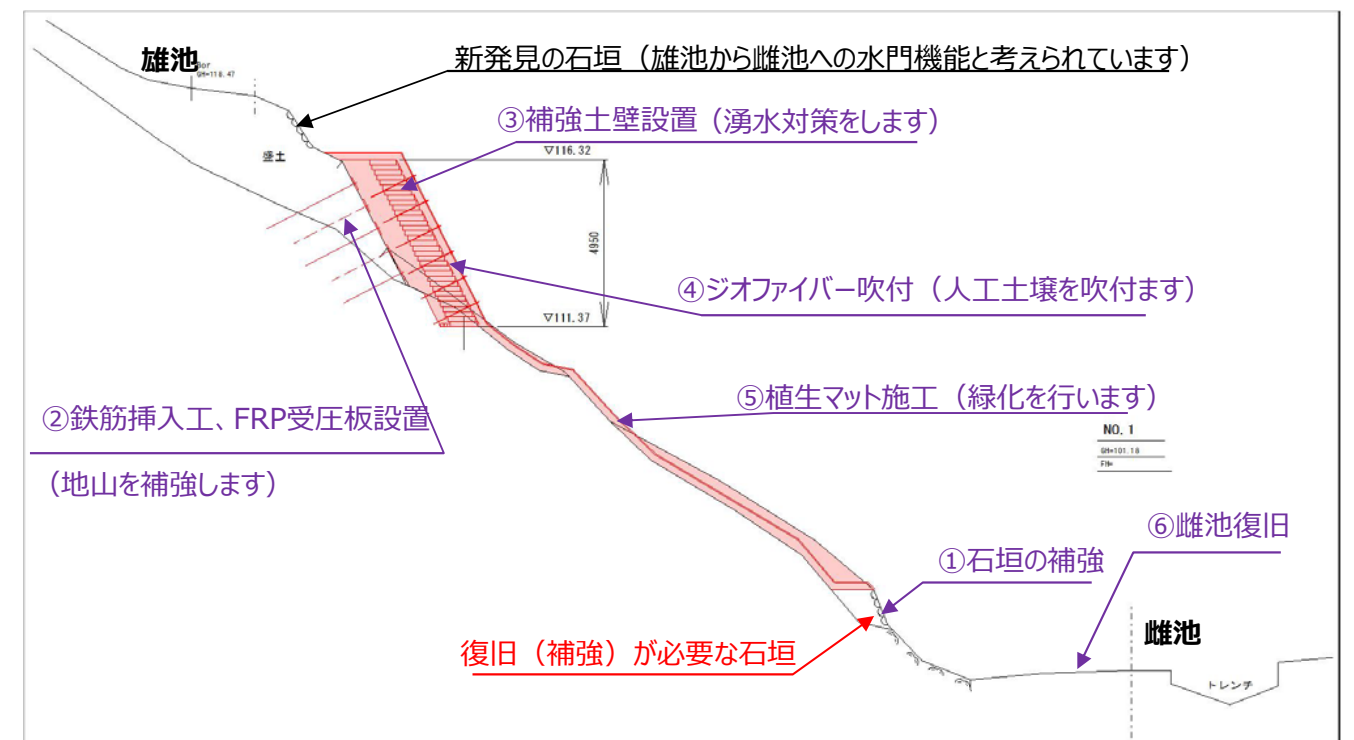


【被災写真 H29.12.12撮影】



【標準断面図】

崩壊した斜面を横から見た復旧図面です。作業は紫文字の○囲み数字の順序に施工する予定です。



【石垣復旧】

残存する石垣を今の形で残していくことが重要であるため、壊れやすくなっている石垣の一部を補強します。補強ラインは、右図のとおりです。



【復旧に関する問い合わせ先】

佐伯市 建設部 都市計画課 電話 0972-22-3269